

## 会議概要（速報）

件名	令和3年度 第4回新潟市食育推進会議	
日時	令和4年3月24日（木）午後2時～4時	
場所	ふるまち庁舎（古町ルフル） 402会議室	
出席者	委員	猪俣委員、佐藤委員、真保委員、高杉委員、長谷川委員、馬場委員、松井委員、宮川委員、村井委員、村山委員、和須津委員 （欠席：葛見委員）
	事務局	【食と花の推進課】坂井課長、岸本課長補佐、佐藤係長、春川副主査、酒井副主査
概要	<p><b>1 開会</b></p> <p><b>2 議事</b></p> <p><b>（1）第4次新潟市食育推進計画について【資料1～3】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1により、パブリックコメントの実施結果について報告。食育マスターの登録者数が減少したことについて、修正を加えた。</li> <li>・資料2により、第4次計画の最終案の提示と説明。第3次計画の最終評価や第4次計画の数値指標について最終報告。</li> <li>・資料3により、今後のスケジュールを報告。28日（月）に村山会長とともに市長へ答申を行い、成案となる。</li> </ul> <p><b>【主なご意見・質問等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・とても丁寧に書かれており、保育所等における食育の推進の部分では、保育指針との整合性も図られている。</li> <li>・学校給食の現場におけるアレルギー対応についても、今後考えていかななくてはならない。</li> <li>・市民の一人として読んでみて、とてもわかりやすい。小学校の教員にも読んでいただきたい。</li> <li>・地場産率を金額ベースで算出することとなり、世界情勢の悪化によるあらゆる品物の値上げや今後の経済状況を考えたときに、本計画でどこまで達成の到達度を考えていけばよいのか、疑問点として残る。</li> </ul> <p><b>（2）令和4年度食育推進事業について【資料4】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第4次計画の開始に合わせ、食に関する課題が多いと想定される若い世代へ施策が届くよう、計画の基本方針に沿った、さらなる事業の進展と新たな取組を視野に入れ、効果的な施策を目指す。</li> <li>・次年度の食育推進事業の案について説明。</li> </ul>	

**【主なご意見・質問等】**

- ・和食や郷土料理に普及啓発はとても大切であるが、今までと同じように伝えるのではなく、より簡単に、より若い世代が作りやすく、カスタマイズしながらやっていくことが大事。学校栄養教諭との連携も大切。高校生以降から食育が途切れないよう、教育したことをどこまでどのようにつなげていけるか考えていく。
- ・計画の概要版については、イラストを活用し、ワンポイントでまず関心と呼ぶような内容で作成していただきたい。動画の活用も検討を。  
また、就学時健診で食育マスターを活用するという取組は非常に良いと思う。親世代に1番情報が入るところであるため、有効活用していただきたい。
- ・SDGs や食品ロスについて関心があり、実践している高校生や大学生が新潟にもいるため、関係者がサポートしたり、発表の場を与えることは、彼らにとって良いチャンスとなるのでは。
- ・離乳期は味覚や五感が育つ大切な時期でもあるため、出汁などを活用した和食での離乳食の普及啓発も検討していただきたい。

**(3) 委員の委嘱について**

- ・現委員の皆さまには、令和2年度から2年間、第4次計画の策定についてご審議いただいた。本計画に基づきながら、施策へつなげ、食育の推進を図るという部分についても、引き続き携わっていただきたい。

**(4) 令和4年度新潟市食育推進会議について【資料5】**

- ・本会議の概要を再度説明。次年度は1回の会議を予定している。前年度の評価と次年度の施策についてご審議をお願いしたい。

**(5) その他**

**4 閉会**

傍 聴	1 人
報 道	なし